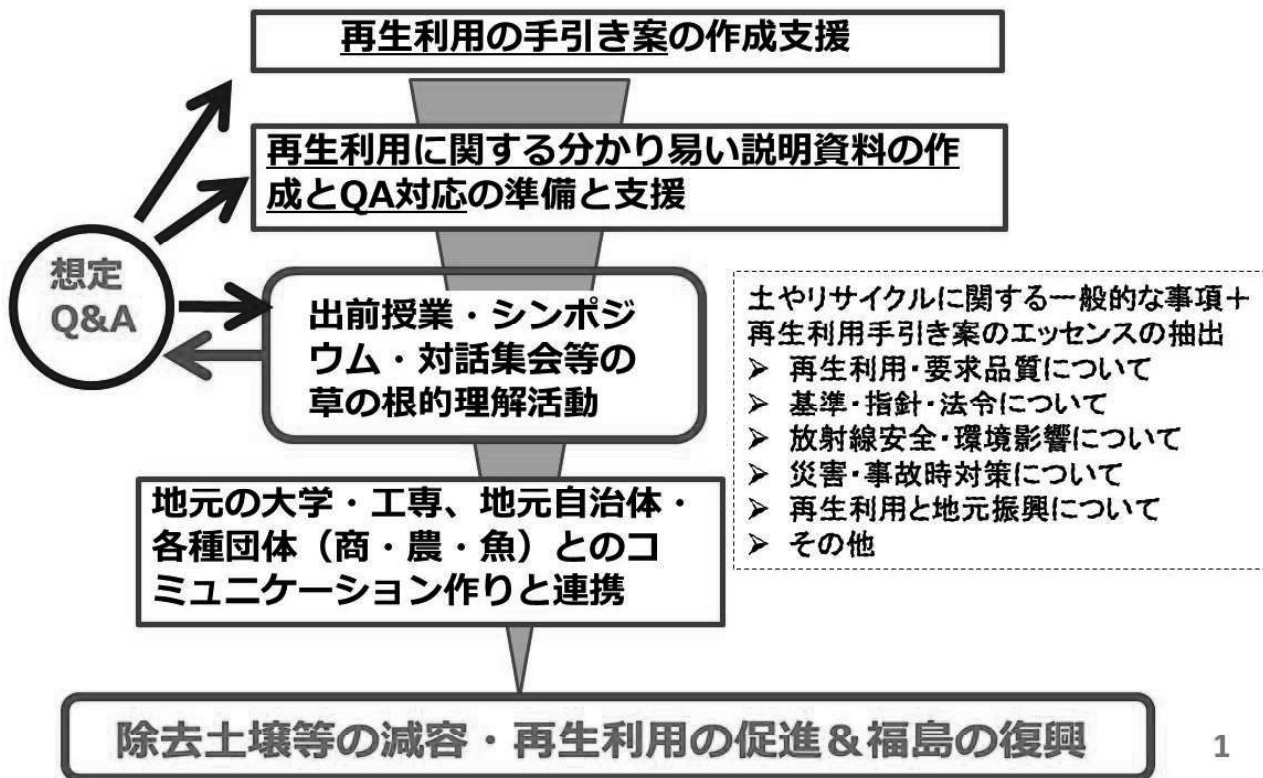


土木学会「再生利用WG」における社会的受容性の検討および今後の進め方について



1

平成27年度の社会的受容性に関連する活動事例（1/3）

(1)長崎大学福島未来創造支援研究センター主催・土木学会等後援の公開シンポジウム「福島の問題の変遷－さまざまな分野における事故後4年の経過における問題点の変遷－」、平成27年12月11日、長崎大学良順会館

(当WG委員（佐藤、万福、伊藤）の講演と幹事長参加)

平成 23 年に発生した東日本大震災から 4 年が経過し、間もなく 5 年を迎えようとしている。さまざまな分野における事故後 4 年の経過における問題点の変遷を取り上げ、放射性物質に汚染された地域はどのように再生していくのか

福島の未来と問題の変遷

—さまざまな分野における事故後4年の経過における問題点の変遷—

とき 平成27年12月11日（金）
13:00～17:30

ところ 長崎大学 良順会館
ポードインホール（坂本キャンパス）

13:00-13:40 開会挨拶 山下 健一
13:40-14:30 福島復興・再生に向けた長崎大学の取組
高村 勇 長崎大学 環境工学部
13:30-13:50 土壌および有機物に吸着した放射性セシウム等の抽出実験
大橋 聖 長崎大学 工学部
13:50-14:10 粘土鉱物中によるCs吸着メカニズムと再現性
矢板 毅 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 (JAEA)
14:10-14:30 福島県内の森林生態系の利用と復興への貢献
杉村 聡 長崎大学 環境工学部
14:30-14:50 農地汚染と移行低減対策、4年の月日で見え(きた)こと
橋本 卓也 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 (NARO)
14:50-15:30 休憩
15:30-15:50 福島第一原子力発電所内発生する廃棄物の現状と課題
佐藤 毅 北海道大学 大学院 工学研究科 環境化学研究室
15:50-16:10 経路廃棄物の現状と課題、地域再生の取り組み
万福 裕造 国立研究開発法人 国際森林水産業研究センター (IFRCAS)
16:10-16:30 土壌の分級における減容の可能性
伊藤 健一 長崎大学 環境工学部
16:30-16:50 土壌の熱処理における減容の可能性
八田 真由 国立研究開発法人 国際森林水産業研究センター (IFRCAS)
16:50-17:40 経路廃棄物の減容再利用の可能性—誰になる責任何か？
保高 留生 国立研究開発法人 農業技術総合センター (NIST) 産総研
17:40-17:50 閉会挨拶 山下 健一

2

平成27年度の社会的受容性に関連する活動事例 (2/3)

(2)福島工専における出前授業の実施： 福島を除去土壌関係、リサイクル一般における環境経済性などについて特別講義を実施（平成28年1月25日； 対応は当WGの万福委員、渡邊幹事）

(3)資源循環コンソーシアム全体会議「震災がれきと産業副産物のアロケーション最適化コンソーシアム - 資源循環の産学連携拠点の形成-」における公開シンポジウムを共催：（平成28年2月19日、TKPガーデンシティ仙台、当WG委員の久田委員、万福委員がメンバーとして参加、また河西と渡邊の両幹事が当WGの除去土壌等の減容・再生利用技術に関する活動状況を話題提供として紹介の予定）

(4)土木学会主催・東日本大震災5周年シンポジウム「この5年間の復興の加速と次への備えに活かすために」における第3セッションを開催の予定：「福島第一原発事故由来の放射性汚染廃棄物対策の着実な推進に向けて-福島からの復興を目指して-」として公開の講演・パネル討論会を開催、平成28年3月1日、発明会館、（当WGの大西委員長が座長、河西幹事、JAEA油井氏、および桜井南相馬市長が登壇の予定）（次の添付資料-1を参照）

3

平成27年度の社会的受容性に関連する活動事例 (3/3)

添付資料-1

土木学会主催「東日本大震災5周年シンポ(H28.3.1)での活動状況紹介

この5年間の復興の加速と次への備えに活かすために

土木学会主催 東日本大震災5周年シンポジウム

場所 発明会館 ホール (東京都港区虎ノ門2-9-14) 定員 300名
 主催 公益社団法人 土木学会 (東日本大震災復興支援特別委員会)
 後援 (予定) 国土交通省、日本建築学会、日本都市計画学会、日本原子力学会、地盤工学会

日時 2016 (平成28) 年 3月1日 (火) 10:00~17:00
 10:00~10:15 開会あいさつ 公益社団法人土木学会 会長 廣瀬 典昭
 10:15~12:00 セッション1: 被災アセスメント・津波被害軽減を目指して 座長: 岡野 孝夫 (東京海洋大学)
 13:15~15:00 セッション2: 「危機耐性」を考慮した耐震設計体系、試案と実装に向けて 座長: 長尾 毅 (神戸大学)
 15:15~17:00 セッション3: 福島第一原発事故由来の放射性汚染廃棄物対策の着実な推進に向けて-福島からの復興を目指して- 座長: 大西 有三 (関西大学)

日時 2016 (平成28) 年 3月2日 (水) 10:00~17:00
 10:00~11:45 セッション4: 災害対応のソフト〜人・組織・地域〜 座長: 廣野 秀明、松本 直也
 13:00~14:45 セッション5: 東北の津波被災地復興の経験から何を学ぶか? 座長・話題提供: 櫻井 隆幸 (日本大学)
 15:15~16:45 セッション6: 福島第一原発事故被災地の復興をどう進めるか? 座長: 幸田 仁 (東京大学/筑波研究大学院大学)
 16:45~17:00 クロージングセッション: この5年間の復興の加速と次への備えに活かすために 座長: 佐藤 慎司 (東京大学)

※同日とも、出席者目録により変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

○プログラムの詳細はホームページ (<http://committees.jsce.or.jp/2011quake/>) でご確認ください。
参加費【資料代含む】
 【事前申込】 会員 (後援学会員含む) 5,000円、非会員6,000円、学生2,000円【当日申込】 6,000円
 ※当日申込みの場合、定員超過で入場できない可能性があります。あらかじめご了承ください。

■事前申込 土木学会ホームページの本部主催行事申込からお申込み下さい。
<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

問い合わせ先: 公益社団法人 土木学会 事務局 二番
 TEL: 03-5395-3659 FAX: 03-5379-2769
 E-mail: 2011quake@jsce.or.jp

本シンポジウムは、
 株式会社エヌ・ティ・エー(NTT)が協賛しています。
 キャンペーンは土木学会会報「建設」でプログラムを
 随時紹介いたします。

2016年3月1日 (火)

15:15~17:00

セッション3

福島第一原発事故由来の放射性汚染廃棄物対策の着実な推進に向けて~福島からの復興を目指して~

座長: 大西有三 (関大特任教授/京都大名誉教授)
 (放射性汚染廃棄物対策土木技術特定テーマ委員長)

話題提供者・パネリスト:

1) 福田俊彦 (原子力損害賠償・廃炉等支援機構 執行役員): 福島第一原発廃止措置の取り組み状況と今後の計画推進

2) 丸山久一 (長岡技術科学大学名誉教授) (汚染水対策タスクフォース委員長): 汚染水TF・汚染水貯蔵用PCタンク検討小委員会等の土木学会取組み状況
 3) 油井三和 (日本原子力研究開発機構 福島環境安全センター長): 福島環境修復と除去土壌等の減容・再利用等の技術開発

4) 桜井勝延 (南相馬市長): 住民帰還と地元復興への地元の取り組み状況、課題、要望事項

5) 河西 基 (アサノ大成基礎エンジニアリング理事・技師長/電力中央研究所名誉研究アドバイザー) (放射性汚染廃棄物対策土木技術特定テーマ委幹事長): 放射性汚染廃棄物対策に関わる土木学会の活動状況と今後の取組み方針

4